

報道解禁日	
新聞	11月2日付朝刊以降
テレビ ラジオ インターネット	11月2日9:00以降

## 平成29年度東北地方発明表彰について

平成29年11月6日

地方発明表彰は、社団法人発明協会（現公益社団法人発明協会）により大正10年に創設され、各地方において優秀な発明を完成された方々、実施化に尽力された方々、発明等の指導、奨励、育成に貢献された方々を顕彰することにより、発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、毎年実施されています。

今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

	受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1	日本弁理士会 会長賞	日本全薬工業株式会社 研究開発本部 チーフエキスパート 村上 誠 営業本部 安齋 秀行	実験動物用翼付 採血針	特許	本発明は、従来の翼付静注針を、熟練者でなくても容易に採血できるように改良し、皮膚から浅い位置にある静脈でも、血管にほぼ水平に挿入できるため、注射針の挿入ミスもなく、スムーズに採血ができる。これまで困難とされてきた、ウサギ、ブタなどからの採血も可能となった。
2	福島県発明協会 会長賞	三菱電機株式会社 コミュニケーションネットワーク製作所 工程課 真狩 法夫 技術第二課長 根本 定征	近赤外線照明付き 監視カメラのカバー技術	特許	監視カメラは、監視されているという不快感をなくすため、カメラにカバーなどをして、可能な限りカメラを目立たなくする必要があるが、従来のカバーは可視光線を透過しないため明るいときの撮影ができなかった。本発明は、可視光線をおよそ50%透過することで、カメラを目立たなく、且つ可視光線での撮影を可能としたカメラカバー。

《表彰式》平成29年11月16日(木)14:00から、ホテルメルパルク仙台で行われます。(仙台市宮城野区榴岡5-6-51 (022-792-8130))

《問い合わせ先》一般社団法人福島県発明協会(電話 024-959-3351)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### ■主催

公益社団法人発明協会

文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、各経済産業局、担当県(今年度の東北地方の担当県は宮城県)

各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、大正10年より実施。

全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明、考案、意匠を完成された方々、発明等の実施化に尽力された方々、発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え顕彰。

### ■表彰

□発明等に関する表彰

・特別賞【文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長賞、東北経済産業局長賞、発明協会会長賞、日本弁理士会会長賞】

・県発明協会会長賞

・発明奨励賞

□発明奨励に関する表彰

・奨励功労賞：発明協会事業を通じ、発明の指導、奨励、育成に多年にわたり尽力し、顕著な功績のある方に贈呈

一般社団法人 福島県発明協会 電話 024-959-3351
-----------------------------------